

10月は「電話 de 詐欺」被害防止強化月間

「自分はだまされない！」
という自信は危険です

市内の被害状況

令和3年1月～8月

被害件数 **17** 件
(前年同期比+7件)

被害総額約 **9100** 万円
(前年同期比+約6900万円)

【参考(年間の被害総額)】
平成30年……約8000万円
令和元年……約8400万円
令和2年……約4000万円

STOP! 電話 de 詐欺

日頃から対策をしましょう

◆留守番電話設定

常に留守番電話に設定しておくことで不審な電話に出なくて済み、詐欺被害を予防できます。

◆ナンバーディスプレイ対応の電話機を設置

相手の電話番号が表示されるので、電話に出る前に知っている相手か確認できます。

◆警告・通話録音機能付き電話機を設置

かかってきた電話に自動応答し、相手に「通話内容を録音する」とメッセージを流して警告します。

これがだましの手口

◆還付金詐欺

例 「我孫子市役所 高齢者支援課の●●と申します。介護保険の還付金があるので、その手続きのためご連絡しました。手続き期限が迫っていて時間がないので、ATMでの手続きになります。ATMに着いたらお電話ください」

⇒市役所職員などを装い、電話で指示し、犯人の口座に振り込ませる。

◆オレオレ詐欺

例 「もしもし、おばあちゃん? オレだけど、今、家にいる? かばんを失くしてしまって、今日中に取引先にお金を払わないといけないんだ。いくら用意できない?」 → 「上司の●●です。お孫さんは書類を作成していて取りに行けないので、代わりに別の部下を自宅に行かせます」

⇒孫や子どもなど親族を装い連絡し、その同僚などを名乗る別の犯人が現金を受け取る。

◆架空請求詐欺

例 「あなたのパソコンがウイルス感染しているので、至急、対策をとる必要があります。コンビニで電子マネーカードを購入し、カードに記載されているコードを教えてください」

⇒架空の事実を口実として電話で指示し、電子マネーなどを買わせてだまし取る。

◆預貯金詐欺

例 「あなたの口座が悪用されています。これからキャッシュカードを取りに行きます。手続きのため、暗証番号を教えてください」

⇒警察官や金融機関の職員などを装い、カードを交換する名目でカードや暗証番号をだまし取る。

市役所や警察、金融機関の職員がATMを操作させたり、現金やキャッシュカードを預かることはありません。

「この電話、詐欺かな?」と思ったら警察に通報してください。

詐欺の被害を増やさないために

- 「キャッシュカードや通帳は渡さない、暗証番号は教えない」を徹底しましょう。
- 携帯電話で通話しながらATMを操作する人を見かけたら、詐欺被害者の可能性があるので声を掛けましょう。
- 市のメール配信サービス「防災・防犯情報」に登録し、市内の詐欺発生情報を入手しましょう。登録方法は11面をご覧ください。



実際にあった「電話de詐欺」の犯人の電話音声を千葉県警察ホームページ(QRコード参照)で公開しています。さまざまな手口があることを知り、被害に遭わないように注意してください。

☎ 我孫子警察署 ☎7182-0110、市民安全課・内線485

